

特集号

3/20

令和5年(2023年)

# 北区ニュース



## 「新庁舎建設基本計画」を策定しました

令和5年3月に「東京都北区新庁舎建設基本計画」(以下「基本計画」)を策定しました。平成23年度に「東京都北区新庁舎建設基本構想」を策定し、平成29年度に建設予定地の選定をしました。平成30年9月からは基本計画の本格的な検討に着手し、区民ワークショップや説明会、学識経験者の意見を聴取する専門家会議などを行い、新庁舎に求められる各項目について選択と具体化を図りました。

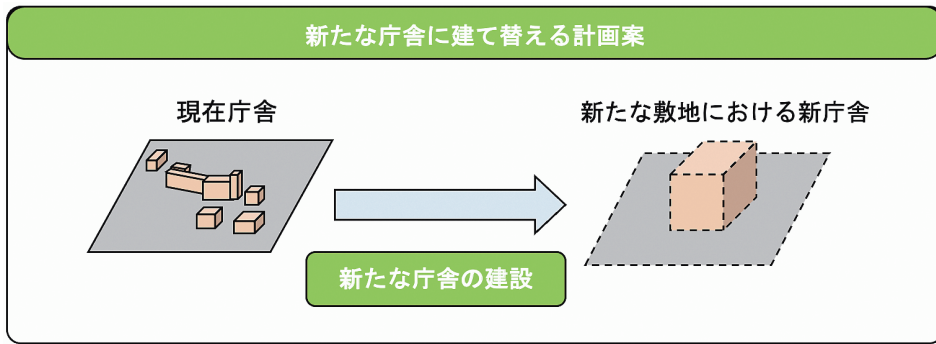
本号は基本計画の基本的な考え方、基本機能、必要な性能、事業計画などについてお知らせします。

基本計画の内容

基本的な考え方 基本機能 必要な性能 施設計画 事業計画 今後の検討に向けて

### 基本的な考え方

#### 庁舎整備の方向性



「庁舎のあり方検討」「基本構想」と検討を進めた結果、**安全、老朽、分散、狭あい、環境**などの問題が生じていることから、新たな敷地で庁舎を建て替えることとしています。

#### 建設予定地の位置



### 解決すべき課題

#### 現庁舎の課題

- 安全**  
・耐震性が防災拠点機能として不十分
- 老朽**  
・維持管理費用の増大  
・社会的要求への不  
適応  
【築62年】
- 分散**  
・区民サービス・情報  
セキュリティに対  
する障害  
【8カ所】
- 狭あい**  
・区民サービス・行政  
効率・ユニバー  
サルデザイン化への  
障害
- 環境**  
・熱源・空調方式の  
非効率  
・断熱等基礎的性  
能の不備

#### 建設予定地をふまえた新たな課題

- 災害への対応**
- にぎわい創出**

#### 新庁舎建設のスケジュール

区ではおおむね令和15年度頃の新庁舎開庁を目指しています。

H7~ H23	H17~ H21	H22~ H23	H26~ H29	H30~ R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	
耐震補強 耐震診断	庁舎のあり方 検討	基本構想	建設予定地の 選定	基本計画	設計										工事	開庁

基本計画全文はこちらからご覧いただけます

下記URL、コードから基本計画全文のほか、基本構想や、建設予定地選定、基本計画(案)に対するパブリックコメントなど、これまでの経緯の詳細を閲覧できますので、ぜひご覧ください。

HP <https://www.city.kita.tokyo.jp/somu/kuse/shisaku/chosha/kensetsu.html>

基本計画紹介動画を作成しましたので、是非ご覧ください。



詳しくはこちら

ご意見をください

区の新庁舎建設は常に皆さんの意見を募集しています。お気軽にご意見をお寄せください。

#### お問い合わせ・ご意見提出先

〒114-8508(住所不要)区役所第一庁舎3階5番

総務課新庁舎担当

☎(3908)8628

✉sharyo@city.kita.lg.jp

令和5年4月以降

新庁舎整備担当課

☎(3908)1201

✉shinchosha-ka@city.kita.lg.jp

## 基本的な考え方

新庁舎建設基本構想で定めた基本理念とめざすべき庁舎像は普遍的価値を備えたものであるため、今後も継承していきます。さらに、建設予定地の選定や時代の変化により生じた新たな課題に関する新庁舎整備の方向性を加え、本計画において選択と具体化を進めるための基本的な考え方として、整備基本方針を定めます。

### 新庁舎建設基本構想

#### 新庁舎建設の基本理念

「人と環境にやさしく、  
区民に開かれた 北区のシンボル」

#### めざすべき庁舎像

「安全・安心」の拠点となる庁舎

人にやさしい庁舎

環境に配慮し、長持ちする庁舎

区民に開かれた庁舎

北区のシンボルとなる庁舎

### 基本構想後の検討

これからの庁舎の役割を改めて考える必要があります。

DXの進展

コロナ禍の  
経験

将来的な  
人口減少

令和元年度に実施した区民ワークショップでは「北区らしさ」をテーマに、さまざまな意見をいただきました。

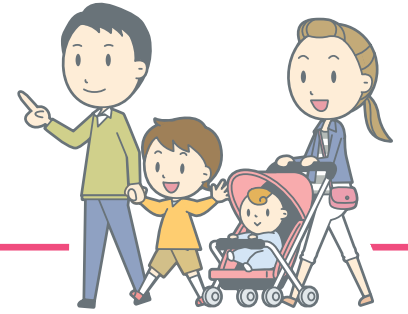


建設予定地には特に重要な2つの課題があります。

災害への対応

にぎわい創出

災害への対応とにぎわい創出に関するモデルケースを想定し比較することで、庁舎が果たす役割や期待できる効果、整備の実現可能性などについて検討しました。



#### 新しい時代のサービスや協働を支える

区民と行政が顔の見える関係を育みながら、新しい時代のサービスや協働の取り組みを支える場として人々に利用されることを目指します。

#### まちづくりと連携した動線や配置

周辺街区での開発や、高台と低地を繋ぐ防災・バリアフリーネットワークの整備の可能性など、今後予想されるまちの変化に対応できる動線や建物の配置とします。

#### 高い環境性能の目標を達成

区有施設を代表する庁舎にふさわしい高い環境性能の目標を設定し、その達成に向けて省エネルギーなどの先進的な技術を積極的に取り入れます。

## 整備基本方針

#### 区の情報や魅力の発信と交流の促進

低層部には区の情報や魅力の発信と人々の交流促進につながる新たな機能を導入し、区民や企業などによる企画、運営が行われることを目指します。

#### 災害対策本部の業務継続を確保

災害対策における指揮命令の拠点として業務を継続できることを最優先とします。また、災害の規模や種類に応じた周辺施設との役割を整理します。

#### にぎわい創出と回遊性向上を実現

区民に親しまれる広場でのにぎわい創出を図るとともに、快適で魅力ある歩行者空間を整備し、まちの回遊性向上につなげます。

基本計画での具体化 **基本機能** **必要な性能** **施設計画** **事業計画**

## 基本機能

### 防災拠点機能

#### ◆防災拠点機能の方針

- ・いかなる自然災害が発生しても業務継続できる
- ・関係機関や団体と連携、協働できる
- ・不測の事態にも臨機応変に庁舎を活用できる

#### ◆被害想定

- ・都心南部直下地震(M7.3)、大規模水害(荒川氾濫)、都市型水害(内水氾濫)を想定

#### ◆災害時における役割

- ・災害対策本部としての機能強化
- ・避難行動時において一時的に身を寄せる可能性にも配慮

#### ◆災害対策本部の機能

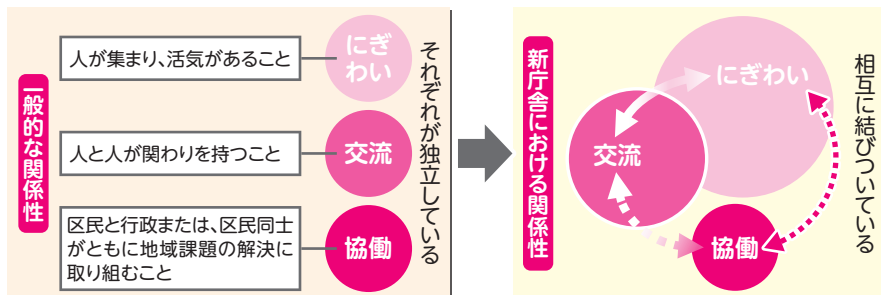
- ・本部会議室、本部活動室、防災情報システムの整備、関係機関控室など

#### ◆災害対策活動を支援する機能

- ・職員の休憩仮眠スペース、生活相談総合窓口、オープンスペースなど

### 区民交流・協働推進機能

にぎわい、交流、協働を相互に結びつけたものと捉えたうえで、多様な人々が集まり利用することを通じて、北区との関わりを深めながら豊かなライフスタイルを実現できること、王子駅周辺の価値が高まり、すべての人にとって「きたくなる庁舎」となることを目指します。



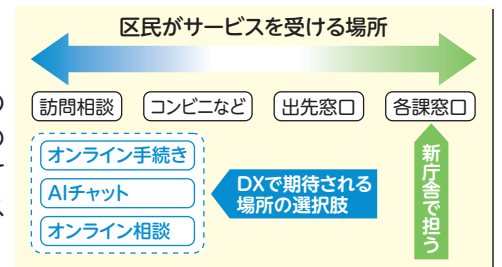
### 区民サービス機能

#### ◆基本的な考え方

プライバシーを守りながら、専門性の高い内容にも応えるために、相談機能の充実などに重点を置き、来庁者が「来て良かった」と感じることでできるサービスの提供を目指します。

#### ◆窓口の配置

「来庁者が少ない移動でサービスを受けられる」「来庁者が一つの窓口でさまざまな手続きを済ませられる」という考え方のもと、窓口機能を集約した北区版総合窓口を目指します。



### 議会機能

- ・議事堂は新庁舎と同じ棟として整備し、議決機関としての独立性とセキュリティを確保しつつ、行政との連携にも配慮したフロア配置や動線を工夫します。
- ・効率的で迅速な議会運営と充実した審議が行えるICT環境を整備します。
- ・区民にとってより身近で開かれた議会を実現するため、ユニバーサルデザインを導入するとともに、広報・情報発信機能の強化を図ります。

### 執務機能

働く職員にとって満足度の高い庁舎であることは、生産性を高めることができるだけでなく、来庁者へのサービス向上にもつながります。職員が各々の目標達成のために、互いに協力しながら自由度をもって安心して働くことのできる環境整備に向けて、具体化を図ります。

### 複合化する機能

新庁舎では、スペースゆう、北区NPO・ボランティアぶらざ、北区社会福祉協議会の機能を対象として新庁舎と複合化することを基本に、今後の検討を進めます。

## 必要な性能

### 業務継続性

地震や水害などの災害の種類と規模に応じて、各種ライフラインの供給や交通インフラの途絶、建物の被害などに備え、必要な業務が継続できる建築、設備などの性能を確保した庁舎を整備します。

### 環境性能

- 省エネルギー、省資源、廃棄物などを考慮し、周辺の自然環境と調和した建物とします。
- 地上部を中心に低層部の積極的な緑化を図ります。

### セキュリティ

- 来庁者への親切な対応と職員の働きやすさを両立できるようにします。
- 一部のエリアは休日や夜間などにも多くの人々が利用できるようにします。

### ユニバーサルデザイン

すべての人にやさしい環境を実現するため、誰もが安心して快適に利用できる庁舎を整備します。



キッズスペース(つくば市)



車椅子でも利用しやすいトイレ(開成町)

### 柔軟性

- 制度や組織の改正、人員の増減、新たな窓口の設置など頻度の高い変化に対する柔軟性を備えます。
- 必要な庁舎規模の大幅な増減や他の公共施設の移転など開庁後も変化し続ける社会や周辺の状況に対応できる柔軟性を備えます。
- 通常時に利用するスペースを非常時にも利用できるよう設定した災害時における柔軟性を備えます。

### メンテナンス性

長期間にわたって庁舎を使用していくことをふまえ、LCC※を抑えたロングライフ庁舎を整備します。

※LCC: ライフサイクルコスト。生涯費用。具体的には建設費から、光熱水費、点検・保守・清掃費などの運用維持管理費用、修繕・更新費用、解体処分費や税金・保険費用まで含んだ総計のこと。

## 施設計画

### 職員数と組織

区の人口は、開庁後も当面は極端な減少が予想されておらず、その後の行政需要が変化する可能性も考えられることから、現時点での職員数をベースとした指標設定とします。

### 規模の設定

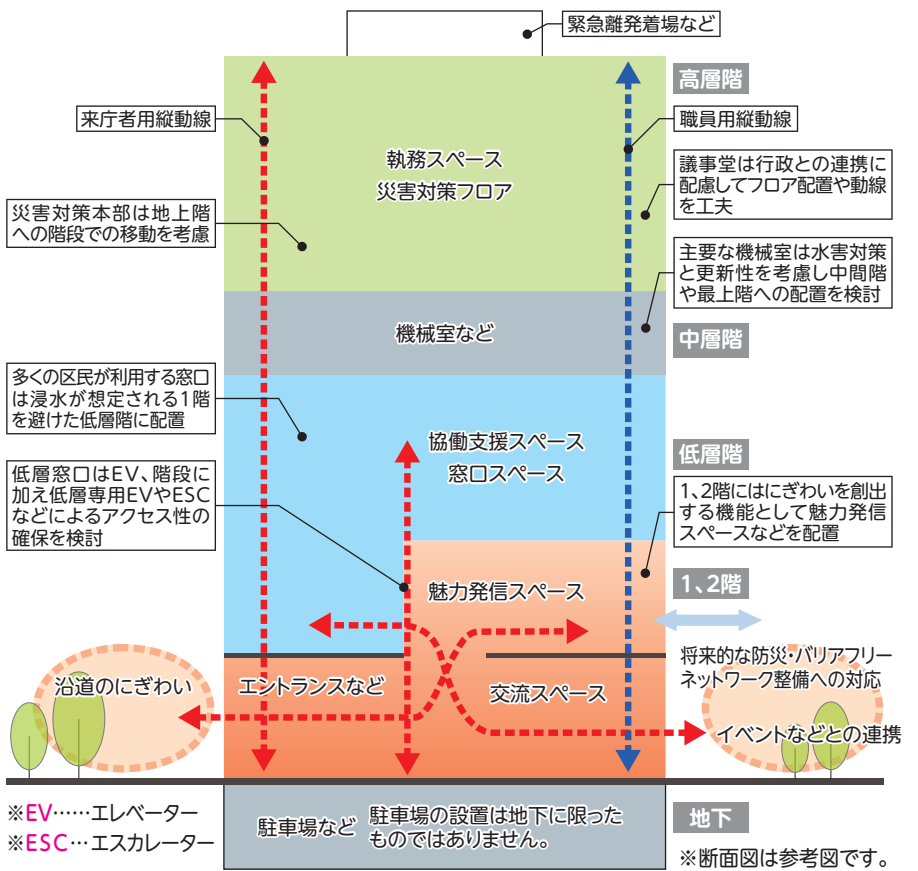
令和元年度に実施した、オフィス環境調査による規模算定に、駐車場面積、複合化する施設の面積とにぎわい創出の規模を加え、新庁舎の規模は48,500㎡と設定しました。

最大人口	約36.5万人
職員数	1,537人
敷地面積	約10,000㎡
想定延べ面積	48,500㎡

### 断面構成

利便性、セキュリティ、災害時、施設の維持管理などの観点から、建物の断面構成は以下の内容などに留意します。

- 多くの区民が利用する窓口や、高齢者、障害者などの来庁者が多い窓口は低層階に配置
- 窓口スペースや執務スペースは、非浸水フロアに配置
- 主要な機械室は地下への配置を避け、中間階や最上階へ配置を検討



## 事業計画

### 事業の進め方

- 事業手法は直営方式 (行政で一般的に採用。区が資金調達し、設計・建設内容を定め、発注し、運営・維持管理)
- 発注方式は設計施工分離発注方式(行政で一般的に採用)
  - ※ただし、事業スケジュールに変更が生じた場合には変更する可能性あり
- いずれも、区民・区の意向を反映しやすく、早期開庁のために設計を進められることなどを理由として採用します。

### 概算事業費

現時点における試算結果を目安として示します。

資材価格や労務費の上昇といった社会情勢にも留意し、引き続きコストを抑える合理化を図ります。

区分	事業費	備考
新庁舎建設工事費	330億円	設計などを含む
その他経費	40億円	解体、移転、備品購入などを含む
土地取得費	120億円	
合計	490億円	

### 財源

財源の見込みを示します。  
一般財源負担を軽減するとともに、起債を抑制し、基金とのバランスを図りつつ最大限活用します。  
なお、現庁舎敷地は原則として売却を予定しています。

	想定額	備考	
財源区分	積立金(基金)	250億円	180億円 (令和4年度末時点)
	地方債(起債)	100億円	180億円を起債し、現庁舎敷地売却後に売却益を起債償還経費に充当
	現庁舎敷地売却益	80億円	
	一般財源	60億円	
合計	490億円		

## よくあるご質問と区の考え方

Q 建設予定地はどのように決まったのか?

A 駅から近いという利便性、建設可能な敷地規模、地域活性化の契機、仮移転が不要など、総合的な観点から、パブリックコメント、議会の了承を経て、選定しています。

Q 浸水して使えなくなるのではないかと?

A 大規模水害が発生しても、区として災害対応業務を継続できるよう、対策を図ります。また、その他業務についても、浸水による被害を最小化するとともに、早期復旧を図ります。

Q これ程の規模が必要なのか?

A 新庁舎は「区民と行政が顔の見える関係を育みながら、新しい時代のサービスや協働の取り組みを支える場」となることを目指しており、必要な規模であると考えています。将来的に、必要な庁舎規模が小さくなるときは、積極的な転用を図ります。

Q なぜこんなに時間がかかるのか?

A 土地取得は令和10年度以降であると想定しており、その後、一日も早く開庁すべく工事を行い、おおむね令和15年度頃の開庁を目指しています。

## 今後の検討に向けて

新庁舎建設をよりよいものとするためには、多くの方の理解と協力が不可欠です。

令和5年度から、いよいよ基本設計にとりかかります。区民に開かれた新庁舎の基本設計を進めるにあたり、行政サービスのあり方、区民交流・協働推進機能、にぎわいの創出など、さまざまなテーマについて、区民や関係団体、企業をはじめとした多くの方が深く関わっていくことが必要です。

新庁舎建設の基本理念である「人と環境にやさしく、区民に開かれた北区のシンボル」のもと、おおむね令和15年度頃の開庁を目指します。



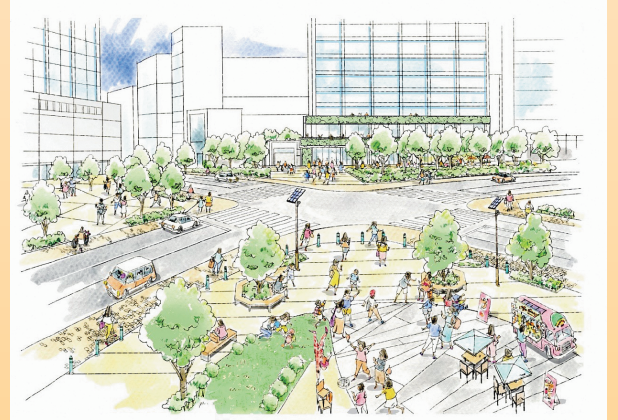
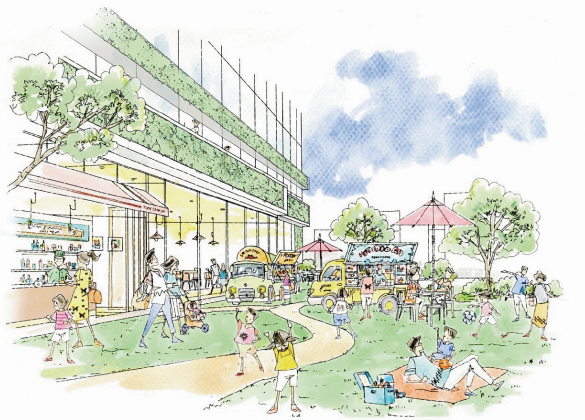
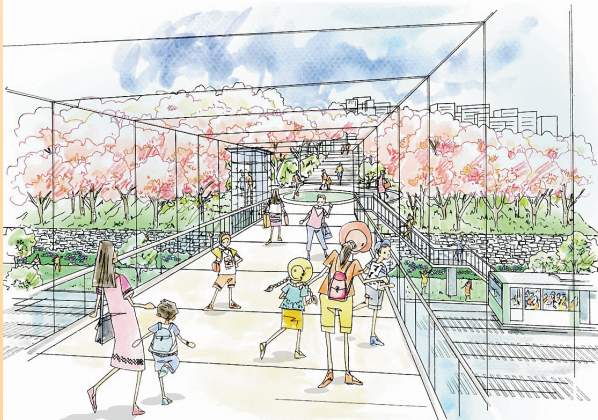
基本計画(案)の説明会



東京都北区新庁舎建設基本計画専門家会議

## 新庁舎建設 × 王子駅周辺まちづくり

区では新庁舎建設を契機としたまちづくりの動向を的確に把握しながら、今後の王子駅周辺で活かすべきまちの特性や解決すべき地域の課題に、適切に対応した計画的なまちづくりを誘導していくため「王子駅周辺まちづくりガイドライン」を策定します。ここでは、新庁舎建設と王子駅周辺まちづくりとの関連について具体的な内容を交えてご紹介します。



※まちづくりにおける空間形成のイメージです。特定の場所を示すものではありません。

## にぎわい創出に向けて

新庁舎建設予定地を含む王子駅周辺は「ウォークラブル・ガーデン」に位置づけられています。歩行者が快適さと楽しさを感じることができるとともに、水とみどり豊かで居心地の良い空間を創出し、多様な活動や交流が行われることを促すこととしています。

また、新庁舎の周辺では、駅前にぎわい拠点施設を誘導するほか、広場などの公共的空間における区民や来街者などの交流を促進し、まちのにぎわいを創出するため、多様な交流・にぎわい活動の展開を推進することとしています。

新庁舎では、そうした取り組みと連携しながら、低層部に区の情報や魅力の発信と人々の交流促進につながる展示・飲食・販売などの機能を導入した空間を整備し、にぎわいが創出されることを目指します。

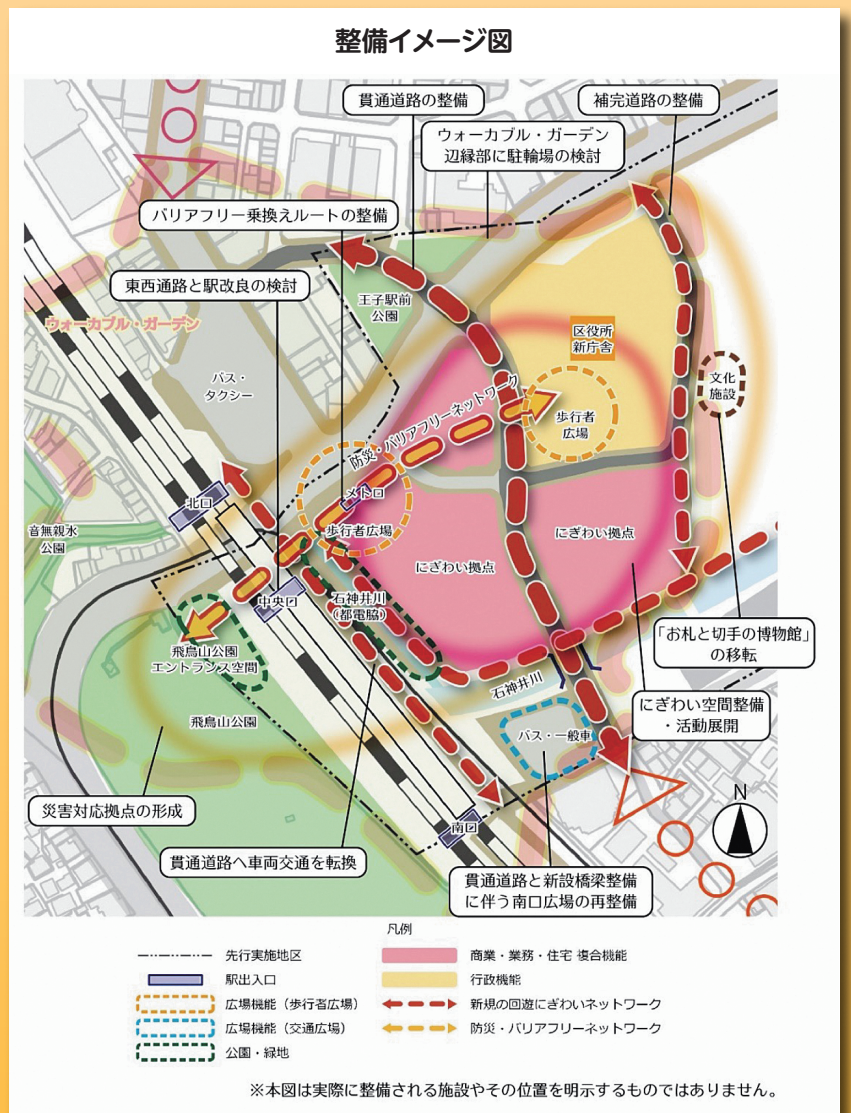
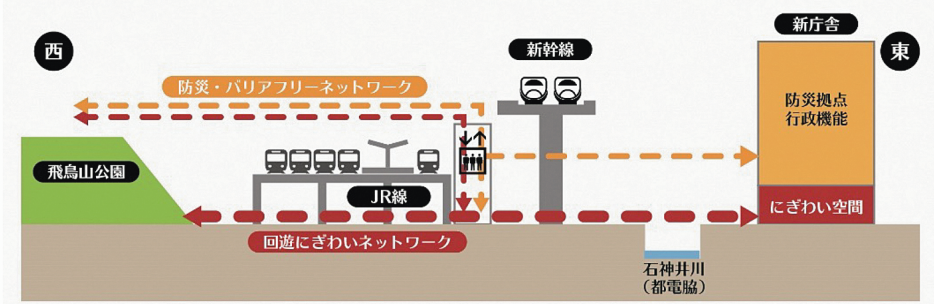
## 災害への対応に向けて

有事の際の防災拠点となる新庁舎から高台にある飛鳥山公園までの間を防災・バリアフリーネットワークで結ぶことを検討します。水害時の高台避難を円滑にするとともに、新庁舎の防災拠点機能維持にもつながります。

また、新庁舎の周辺で地域の防災性の向上を図るため、地域防災活動の支援や帰宅困難者対策の充実など、新庁舎の防災拠点機能と連携した災害対応拠点の形成を誘導します。

### 歩行者ネットワーク断面イメージ

【東西断面イメージ】



### 王子駅周辺まちづくりについて

問 都市拠点デザイン担当課 ☎ (3908) 7186



詳しくはこちら